

【あんじゅ】

児童発達支援・放課後等デイサービス自己評価表【事業者用】

この評価表は、児童発達支援事業所又は放課後等デイサービス事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。
「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」のいずれかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」「課題や改善すべき点」等について記入してください。

実施期間：R1/11/1～R1/11/30
対象者： 11 名
回答者数： 11 名
回答率： 100 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	分からない	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	5	0	0	児童発達支援、単位1、単位2で部屋割りを行い、それぞれスペースを確保して行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	2	2	3	座る位置や見守りの位置を工夫し、安全を意識して行っている。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備が適切になされているか	7	4	0	0	階段の利用があるので、職員が必要に応じて上り下りの補助を行っている。 視覚的な指標をする事で分かりやすい工夫をしている。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間が確保できているか	6	2	0	3	環境整備のマニュアルの基、クレンリネスの意識を高く持ち取り組みを行っている。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	9	2	0	0	日々のミーティングから反省を繰り返して、管理者より具体的な目標を提示する事で日々改善の意識が付いている。
	2	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	4	0	3	全体のミーティングの場で意見を共有し、改善に向けて話し合いを重ねている。
	3	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	11	0	0	0	HP上にて公開している。
	4	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	0	0	6	他事業所からの評価を基に改善案を出している。 翌月に確認を行う事で進捗状況の確認と振り返りを行う様にしている。
	5	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2	7	0	2	スタッフミーティングの場を用いて障害の理解や法改正に対応出来るように共有を行っている。
適切な 支援の 提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	4	1	0	アセスメントは日々の支援の中から常に行い、関わるスタッフから出た意見を基に計画書作成へ活かす事が出来ている。
	2	児童発達支援ガイドラインや放課後等デイサービスガイドラインに基づき、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画において子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容を記載しているか	7	4	0	0	日々のミーティングから支援について話し合いの場を設ける事により、設定した目標に向けての取り組みを共有する場を設けている。
	3	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	3	0	4	どちらのニーズにも応えられるように計画を行っている。 児童発達支援では就学に向けて集団での療育を強化している。
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援が行われているか	5	3	0	3	児発管が支援の立案を行い、ニーズに沿った支援を行っている。
	5	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	3	0	0	各部屋のリーダーを中心に日々活動立案を行っている。 各スタッフが言いやすい環境づくりが行えている。
	6	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	0	1	0	季節毎のプログラムを取り入れている。 ニーズの変化やご家庭とのやり取りからプログラムに偏りが出ないように工夫を行っている。
	7	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	3	2	2	活動時間により取り組みの内容に変化を持たせている。 長期休みには時間を有効活用出来るように、1か月を通しての集団制作等工夫をしている。
	8	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	11	0	0	0	支援の前には必ずミーティングを開き担当や流れの確認を行っている。 参加出来ないスタッフには別途知らせ共有を行っている。
	9	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	2	8	0	支援で気になった点は必ずノートやメモに情報を残し、送迎時間によるズレで確認漏れが無いように共有を行っている。
	10	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	2	1	8	0	日々の連絡事項を残すメモを活用し、確認を行っている。 日々のミーティングの場を使いヒヤリハットの共有と改善に繋げている。
	11	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	1	3	2	5	必要期間と連携を取り、定期的にもモニタリングを行っている。 利用者様の成長に合わせて、一番の支援を常に意識して計画の更新を行っている。
関係機関や 保護者との 連携	1	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	0	0	3	管理者又は児発管が参加し、必要情報の共有はスピード重視で行っている。
	2	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関との情報共有や連絡調整を適切に行っているか	8	0	0	3	検温が定期的に必要なお利用者様には保護者様から頂いた情報を基に適宜対応している。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	分からない	工夫している点、課題や改善すべき点	
関係機関や保護者との連携（続き）	3	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医等や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	8	0	0	3	緊急時の連絡先として情報を頂いており、保護者様へのご連絡と併せて行う様共有をしている。	
	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有が行われているか	8	0	0	3	支援計画書の提供や関係機関との面談を重ね、日々更新される情報を共有し、支援に活かしている。	
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供が行われているか	6	2	0	3	次事業所への支援移行に伴い、必要な情報交換を行っている。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	6	0	1	児童発達支援センターと併用しているご利用者様の情報は定期的に共有させて頂き、一貫性のある支援を行うよう心がけている。	
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	1	7	3	現状は行えていない。 今後社会性を育む場として活用していきたい。	
	8	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	0	8	3	事業所の行事に招待する事は出来ていない。	
	1	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	0	0	3	その日の支援の内容に、プログラムを行った事による成長や変化をお伝えしている。 利用者負担に関しては社員が行い、間違いの無いように務めている。	
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明を行っているか	6	0	0	5	保護者様のニーズに併せ、こちらで支援を行っている支援者の視点を加えた計画書の作成を行い署名を頂いている。	
保護者への説明責任等	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7	1	0	3	送迎時の対応や個別面談を通して、親身になって対応する事を心がけている。	
	4	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	0	3	送迎時の申し送りを通してプログラムを通して気付いた成長や、これからの支援についての共有を行っている。	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	3	0	5	現在多くは行えていないが、家庭連携加算を活用して時間を確保し行えるように努めている。	
	6	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	1	7	3	現在交流の場として機会の提供は行えていないが、今後事態の収拾を見て合同の企画を検討していきたい。	
	7	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	0	0	2	相談を頂いた時にすぐに対応出来るようにしている。状況の確認から必要に応じてカメラの映像を検証する等を行い、正確に行えるように努めている。	
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	1	0	0	電話やメールを活用し、迅速に対応している。	
	9	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	0	0	8	3	HPを通して行っているが、事業所の事をより細かく発信出来るようにしていきたい。	
	10	個人情報に十分注意しているか	11	0	0	0	日々のミーティングや情報共有を通して適切に扱っている。研修を十分に行い、扱いの共通認識を持てるようにしている。	
	非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	0	0	3	緊急時のマニュアルを参考にし、ヘルメットの位置や避難経路はご利用前の見学時にご説明させて頂いている。
		2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	3	0	4	年に2回の訓練を行っている。 半年に一回のペースで行い、間隔が空きすぎないようにしている。
3		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	2		3	日々の研修により取り組みを行っている。 支援や活動の中で気になった事は職員同士で注意、共有している。	
4		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	0	0	3	契約時にお伝えはしているが、他害のある方やパニックになっている方を想定してのケース会議を通して理解を深めていきたい。	
5		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	0	0	3	必要のある利用者様へはおやつはご持参して頂いたり、保護者様に確認を取って支援を行っている。	
6		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10	0	0	1	日々の支援で起こったヒヤリハットは記録に残し、再発防止に努めている。	

【あんじゅ みなみだい】

児童発達支援・放課後等デイサービス自己評価表【事業者用】

この評価表は、児童発達支援事業所又は放課後等デイサービス事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。
「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」のいずれかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」「課題や改善すべき点」等について記入してください。

実施期間：R3/11/1～R3/11/30
対象者： 8名
回答者数： 8名
回答率： 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	分からない	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	3			1部屋に集中するとスペースが狭い。 人数が偏らないよう誘導している。
	2	職員の配置数は適切であるか	5	3			ドライバーを兼任できる職員が少ない。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備が適切になされているか	1	2	4	1	
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間が確保できているか	5	3			送迎車や事業所内の清掃・除菌を行っている。 事業所全体で清掃の習慣化が必要。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	3		2	スタッフミーティングにてPDCAサイクルを行えている。 CAの部分が全体的に苦手
	2	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	2		1	アンケートの結果を受けて改善点を話し合っている。
	3	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4		1	3	
	4	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	1	1	5	外部的な介入がないため根本的な改善や問題の提起がなくいつもその場しのぎになっている。
	5	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	2		2	外部研修の機会が少ない。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	8				
	2	児童発達支援ガイドラインや放課後等デイサービスガイドラインに基づき、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画において子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容を記載しているか	6			2	
	3	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	2			全利用者様に合った支援を行えるようスタッフミーティングを行っている。
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援が行われているか	3	4		1	毎日支援計画を頭に入れられているわけではない。
	5	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	3			一部で計画を立てているので、全体で考える時間が必要。
	6	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	5			週単位でプログラムを個々に応じたレベルで提供している。 新しいものも取り入れる姿勢がある。 課題が見えても改善までスムーズに行えていない。実行への積極性がない。
	7	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	4	1	1	細やかまではいかないが、個々に応じた設定ができています。
	8	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	2			当日の職員が揃ったタイミングで行えている。
	9	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	4		2	毎日ではないが定期的に行っており、共有もできている。 全体で共有できていない部分もある。
	10	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	2		1	曜日・時間を決め各自取り組むことができている。
	11	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			3	
関係機関や保護者との連携	1	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		2	1	5	基本的に事業所の社員が参加しているのですが、パート従業員は会議に誰が参加しているか把握していない状況である。
	2	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関との情報共有や連絡調整を適切に行っているか					

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	分からない	工夫している点、課題や改善すべき点	
関係機関や保護者との連携（続き）	3	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医等や協力医療機関等と連絡体制を整えているか						
	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間で支援内容等の十分な情報共有が行われているか	3	2		3	送迎時に学校での様子などを聞いてあんじゅで活かすようにしている。 充分とはいかないが、必要があれば共有している。	
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供が行われているか	1	2		5	支援について具体的な話をしたことは無いが、機会があれば情報共有をしたい気持ちがある。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか				3	5	
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会があるか				6	2	
	8	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っているか				7	1	
保護者への説明責任等	1	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	1			1	
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明を行っているか	6	1			1	面談や送迎時などで保護者のニーズに合わせて出来る限り対応している。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		2	2		4	
	4	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	2				送迎時に家庭の様子を聞く横心がけている。 定期的な面談以外にも送迎時や電話などでの連絡を行っている。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	2				保護者からの相談に対し必要な対応を行えている。
	6	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		1	5		2	コロナ禍のため、現在は行っていない。
	7	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1			2	苦情への対応は迅速だが、周知できているかは分からない。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	2				出来たところ・良い所を中心に伝えている。
	9	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	4	1		1	行事予定は出しているが、それ以上の会報はない。
	10	個人情報に十分注意しているか	7	1				伏字や外部での会話には特に気を付けている。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	4			2	周知は充分でない。 契約時の説明はあるが、それ以降定期的な共有をしていない。
	2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	3			1	時折訓練実施が遅くなってしまう。
	3	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6				2	研修機会をもっと増やすべきと思っている。
	4	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	2			3	実施事例はないが、必要な動き・流れは把握している。
	5	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	2	2		1	指示書までもらってはいないが、適切な対応はしている。
	6	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	2				共有できる機会をもっと設定する必要あり。

【あんじゅ そうぶだい】

児童発達支援・放課後等デイサービス自己評価表【事業者用】

この評価表は、児童発達支援事業所又は放課後等デイサービス事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。
 「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」のいずれかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」「課題や改善すべき点」等について記入してください。

実施期間：R3/11/1～R3/11/30
 対象者：10名
 回答者数：10名
 回答率：100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	分からない	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	3	1	0	状況に応じたスペースを確保できている。仕切りがあり見通しの良いスペースである。多動性の強い児童がいる日は工夫が必要。高学年児が多い日は狭く感じるが、スペースが分かれているのでプログラムは行いやすい。
	2	職員の配置数は適切であるか	8	2	0	0	利用者様の支援度により少ない時も感じる。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備が適切になされているか	5	5	0	0	職員で協力し合い改善する努力はしている。視覚優位の利用者様には掲示物を少なくし視覚支援カードを用いる方が良いと思う。常に着目して個々のニーズに沿った支援や環境を心掛けている。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間が確保できているか	9	1	0	0	換気・消毒は徹底している。(2名) ゴミが落ちていたら拾う習慣を付けた。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	4	1	0	目標の再設定が共有できていないことがある。Todoリストを活用し、目標を持ち業務に取り組んでいる。(2名)
	2	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	1	0	3	真摯に受け止め課題にし業務改善に努めている。(2名)
	3	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	1	0	6	会社のHPに載せているがあまり浸透していないと感じる。
	4	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	1	2	3	外部ではないが、店舗チェック等改善点を指摘してもらっている。
	5	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	5	0	0	発語に関する研修を望んでいる。スタッフミーティングで研修を行うが、出席率が低いことが課題である。(2名)
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1	0	3	職員で共有しながら話し合える機会を作っている。アセスメントシートは職員で共有している。個別支援計画書に沿って支援の統一化を図っている。(2名)
	2	児童発達支援ガイドラインや放課後等デイサービスガイドラインに基づき、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画において子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容を記載しているか	8	0	0	2	ガイドラインを理解して必要項目の設定・支援内容を取り入れた計画書としている。
	3	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	1	0	1	個別での利点、集団での利点を考慮している。各自の特性を理解して個別・小集団での活動を考慮している。
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援が行われているか	9	0	0	1	プログラムに応じて子どもたちに適した内容となっている。
	5	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	2	1	0	月ごとにSSTの内容を考えて行っている。進め方などは話し合い決めている。(3名) 音楽プログラムは立案を職員が共有できるよう心掛けている。
	6	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	2	0	0	少しずつ変化を加える努力をしている。年間の長期目標と短期目標を定めている。室内活動が多く、戸外での子どもの動きに対応するスキルアップが図れない。
	7	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	0	0	3	社員各自で企画したものを提供し飽きない工夫をしている。(2名)
	8	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	0	1	0	ミーティングでその日の流れをしっかりと確認している。不参加者にも伝える努力をしている。(2名) 出勤時間の事情で参加できない時は、決まったことを共有できるようにしてほしい。
	9	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	4	1	2	送迎後振り返りを行っている。(2名) 送迎後なので社員のみで行うことが多いがパートさん方の思いを伝え課題にしている。 参加できないが、職員間で話した内容を伺い日々の支援に繋げている。
	10	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	2	0	1	書類の書き方を統一している。 月1回考察として結果と今後の課題を提出している。 経過支援記録に載せている。
	11	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	1	0	3	・児発管を筆頭に取り組んでいる。 ・モニタリングは定期的に行い計画書作成を行っている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	分からない	工夫している点、課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	1	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	6	1	0	3	児発管が関わっている。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関との情報共有や連絡調整を適切に行っているか					非該当
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医等や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					非該当
	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有が行われているか	6	0	0	4	送迎時など話ができる時に支援内容など共有している。定期的なケース会議を行い、支援について課題や改善策を話し合っている。
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供が行われているか	3	1	0	6	卒業後通う生活介護事業所にそれまでの支援内容などを提供した。(保護者様同意のもと)
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1	0	6	就学後あんじゅを利用する際、センターの助言を受けた。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	3	5	1	臨時開所などで公共施設利用時に関わることがある。その際トラブルとならないよう見守り支援している。近隣の児童館の方がとても親切で集団でも遊びに来てほしいとのことなので、コロナが落ち着いたら交流の場を広げていきたい。
	8	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	3	4	3	事業所の行事に地域住民を招待することはできていない。
保護者への説明責任等	1	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	0	0	2	契約時に保護者様にきちんと説明している。(2名)
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明を行っているか	8	0	0	2	計画書更新前にご相談させていただき、確認していただいている。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	2	1	4	ペアトレの研修は行ったが、実際に開催したことがない。
	4	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	1	0	1	その日の様子など詳細にお伝えしている。些細なことでも保護者様とお話し共通理解を目指している。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	2	0	0	送迎時や保護者様にお会いした際様子をよく見て悩み等抱えていないか注意している。職員間で話した内容を支援に繋げている。
	6	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	4	2	4	コロナ禍により開催が難しい。(2名) 開催環境の改善が必要。
	7	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	0	2	保護者様からの要望を聞いた際はすぐ職員に報告している。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	0	0	1	発語のない児童には、絵カード・ジェスチャー・文字などで示し関係性を築いている。
	9	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	1	1	4	利用予定表を配布する際、先月行った行事や訓練のことを載せている。
	10	個人情報に十分注意しているか	10	0	0	0	研修やミーティングで個人情報取り扱いの重要性や注意事項を伝えている。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	3	0	0	各マニュアルは契約時保護者様に伝えている。職員には定期的に読み合わせや実践を通して伝えている。
	2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	2	0	1	年2回の避難訓練は、消防署協力の下通報訓練を必ず行っている。
	3	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	4	0	0	ミーティングにて虐待防止研修を行っているが、頻度を上げていきたい。
	4	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	1	0	2	契約時保護者様にお伝えする必須項目である。
	5	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	2	1	1	医師の指示を必ずお聞きし、職員で周知している。
	6	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	1	0	1	毎週ヒヤリハット事例を挙げています。パートさんまで周知できていない。

自己評価表
【事業者用】

課後等デイサービスあんじゅこぶち

実施期間：R3/11/1～R3/11/30

対象者11名

回答者数：11名

回答率：100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見、改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	3	1	ワンフロアではあるが静と動のスペース分けなどとして工夫している。
	2	職員の配置数は適切であるか	7	3	1	マンツーマン対応等配慮すると配置を厚めにしたときがある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	4	0	ワンフロアの為段差はないがトイレに手すりはない建物構造的に難しい面もあるが活動内容に沿って工夫している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	11	0	0	社員ミーティングでは業務改善の意見交換の場を設けている。常時利用者様情報や環境の変化に対応するため、スタッフミーティングを活用。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	2	0	アンケート調査での意見、意向等の把握に努めている。貴重な意見を真意に受け止め業務改善に役立てている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	2	0	集計後HPに公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	6	1	このような活動があるのを知りません。今のところ行ってはいないが今後検討予定である。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	1	0	研修や話し合いの中、支援の方向を話し合っている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10	1	0	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	10	1	0	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	11	0	0	マンネリ化しないよう常時意見交換をしチームで動いている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	11	0	0	プログラムは新しい内容と継続的な内容を取り入れている。集中できるようグループ分けなどし行うなど工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	10	1	0	平日は時間を十分取れないこともあるが、休日、長期休暇などを利用し個々のニーズに寄り添う課題も設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	11	0	0	自発管を中心とし支援会議での意見交換を活用し作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	11	0	0	午前中は社員ミーティングを行い、午後はパート従業員を含めミーティングを行い情報共有を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10	1	0	ヒヤリハットやご家族の相談を共有することが出来ている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	1	0	
	18	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10	1	0	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	10	1	0		
関係機 関や保 護者 との連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10	1	0	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	10	1	0	情報共有が出来ている学校もあるが、直接情報共有できない学校もある。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	7	0	現状、医療ケアが必要な利用者様はいないが今後必要となれば連携していく。主治医等の連絡先は登録している。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見、改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携（続き）	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	5	0	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	8	3	0	必要に応じて情報提供している。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	5	1	研修等専門的な機関と連携し話を聞ける機会が少ない。専門的支援を行うための研修の機会を増やせると良い。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	5	3	現状交流はほぼないので今後交流できるように考えているがコロナ禍ということもあり、外部と交流する機会を設けることが出来ない。
	27 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	5	6	0	必要に応じて参加している。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10	1	0	平日頃の様子を細かく伝え合い子どもの状況、課題について共通理解に深め努めている。家庭と連携して取り組んでいる。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7	4	0	保護者様の悩みなどに寄り添い理解に努め必要に応じて助言を行っている。
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	0	1	社員以外は保護者との直接関わりを持つ機会がほとんどないが社員は説明を行えるよう研修を行う。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	0	1	社員以外は保護者との直接関わりを持つ機会がほとんどないが社員は説明を行えるよう研修を行う。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	3	2	社員以外は保護者との直接関わりを持つ機会がほとんどないが社員は説明を行えるよう研修を行う。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	0	0	『迅速対応』をチームで共有している。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	2	0	こぶちの活動や予定等手紙などで発信している。
	35 個人情報に十分注意しているか	11	0	0	名前が記載されているものはシュレッダーをかけ処分している。持ち歩く場合も外部から見えないよう配慮している。
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	1	0	連絡帳や電話、メール等で伝達をし意思疎通を図っている。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	7	3	コロナ禍での交流は難しい
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9	2	0	研修で職員には周知できている。保護者様には契約時に説明しているが把握できていない事もある。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	2	0	年に2回の避難訓練を実施している。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11	0	0	日常的に虐待防止に留意して業務を行っている。職員には研修等で周知している。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	9	2	0	契約書に明記し説明を行っている。身体拘束が必要な児童が現在はいない。やむを得ず行う場合は左記のように手順を踏み行うことにしている。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10	1	0	アセスメントを見て職員との情報を共有している。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	11	0	0	研修時、又常時ヒヤリハット検討の情報共有を行えている。

【あんじゅ グランディール】

児童発達支援・放課後等デイサービス自己評価表【事業者用】

この評価表は、児童発達支援事業所又は放課後等デイサービス事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。
 「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」のいずれかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」「課題や改善すべき点」等について記入してください。

実施期間：R3/11/1～R3/11/30
 対象者： 9名
 回答者数： 9名
 回答率： 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	分からない	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	6	1		静と動で活動ごとにスペース分けをしている。曜日により人数差がある。ご利用人数によっては狭さを感じる事がある。スペースを有効に使えるよう活動内容や方法を工夫している。
	2	職員の配置数は適切であるか	1	7	1		その日の状況により足りなさを感じる事はある。限られた職員数の中で安全に留意した支援が出来るよう意識している。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備が適切になされているか	7	2			目に見えるよう、表を使用したりしている。視覚優位な児童に合わせてテープ等で工夫している。絵カードや写真カード等を活用している。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間が確保できているか	7	2			毎日の清掃・消毒は全職員が意識できていると思う。清掃、定期的な消毒で清潔に保たれている。日々の清掃は行っているが、行う人によって偏りがある。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	1	2		毎日のミーティングの中で行う事ができている。日々のミーティングの中で共有されているが、受け止め方に差があると感じる。
	2	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	3	1	2	特に共有されていない。
	3	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	1		6	確認できない。
	4	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2		2	5	外部からの評価を受けているのか知らない。
	5	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	2	1		日々の10分間研修はミーティングの中で行われているが、外部研修は無い。外部研修の機会がない。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	9				計画書の作成前に側隠にヒヤリングしている。
	2	児童発達支援ガイドラインや放課後等デイサービスガイドラインに基づき、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画において子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容を記載しているか	8			1	作成前に保護者様にヒヤリングを行っている。
	3	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	1			児童の状態に合わせて作成している。
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援が行われているか	7	2			人によって差がある。
	5	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	1	1		ミーティングで確認と共有を行い、実践できていると思う。
	6	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	2	1		期間を定めて行う事ができている。内容は変えるようにしているが、固定化しがちであると感じる。週ごとに変更している。
	7	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	2			ミーティングで出た意見をもとに設定されている。ミーティングで皆で決めて実践した。
	8	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7		2		マンツーマン対応の児童について、役割分担を行っている。日々のミーティングにて細かく確認が出来ている。
	9	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	3	1		打ち合わせとまではいかないが、その日の事はその日のうちに報告できていると思う。送迎時の保護者様からの情報等を共有している。
	10	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	2			毎日記録をとっている。
	11	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	1		1	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	分からない	工夫している点、課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	1	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1		1	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関との情報共有や連絡調整を適切に行っているか	2	1		6	非該当
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医等や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	2	2		5	非該当
	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有が行われているか	6	1		2	療育終了後の送迎時、よく話のできる園とすぐに話を切られてしまう園と様々。会議などは無いが、送迎時に児童に関しての情報共有を行っている。
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供が行われているか	6	2		1	移行時は他事業所に支援の内容について情報の提供をしている。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1	4	1	ご利用者の状況や支援内容についての共有を行った。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	1	6	1	外部との交流はない。交流は無い。コロナ以前から無かった。
	8	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	6	1	実施したことはない。
保護者への説明責任等	1	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	1		2	契約時に行っている。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明を行っているか	7	2			
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	1	5	2	以前は行っていたが、難しいと思う。相談があった時の助言は行えていると思う。保護者様から相談があった際、家庭連携の一環としての助言や支援を行っている。
	4	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	2			家庭連携として実施している。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	2			家庭連携として実施している。
	6	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	1	6	1	
	7	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	1			苦情についてはあまり耳に入っていないが、あった場合には迅速に対応されていると思う。必要に応じて対応している。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	1			
	9	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3		5	1	臨時開所等の活動予定に関しては発信している。
	10	個人情報に十分注意しているか	9				鍵付きの書庫に保管している。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	2			事業所内の研修で定期的に行っている。ミーティングにて定期的確認や実践をしている。
	2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8		1		定期的な全職員が確認できるよう、ミーティングにて行われている。年2回の避難訓練を行なっている。
	3	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	2			ミーティングの際に周知されている。全職員が適切な対応が出来るよう工夫されている。半年に1回は虐待に関する研修資料の読み合わせが出来ている。ミーティングで確認している。
	4	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	2		2	
	5	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	2		2	保護者様からは伺っているが、医師の指示書は見たことがない。保護者様からアレルギーの情報をもらっている。
	6	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9				

【あんじゅ ほしがおか】

児童発達支援・放課後等デイサービス自己評価表【事業者用】

この評価表は、児童発達支援事業所又は放課後等デイサービス事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。
 「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」のいずれかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」「課題や改善すべき点」等について記入してください。

実施期間：R3/11/1～R3/11/30
 対象者：9名
 回答者数：9名
 回答率：100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	分からない	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	1			利用者人数が曜日によって変わるが、適切に感じる。
	2	職員の配置数は適切であるか	5	3	1		利用者人数に対して職員の手不足になる曜日がある。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備が適切になされているか	5	2	1	1	玄関にスロープがあるため、1階においては出入りはしやすい。2階、3階と階段があるため、事業所全体ではバリアフリー構造になっていない。階段手すりの補修、修理が必要（修理依頼済）。視覚化を意識した環境整備を心がけている。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間が確保できているか	9				清掃員を雇っているため、日々清潔に環境整備を整えながら、心地よい空間作りを意識していることが出来ている。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	2	3	1	3	業務改善を図るための情報交換や共有に個人差が生じてしまう点もあるため、職員全員に周知出来ている点と、共有のみになってしまっている点がある。児発管を中心に取り組んでいる把握の偏りが見られる。
	2	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1		3	保護者様の意向に沿って改善を迅速に行えるように、事業所内で意識して取り組めるように共有を図っている。常にニーズや要望に応じて迅速な対応が出来るように心がけている。
	3	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1		3	HPに結果を定期的に公表している。
	4	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		3		6	第三者による関係機関の評価は特に無し。実施も含めて情報を得ることが出来ていない
	5	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	3		1	日常的に研修を実施。月単位でも実施しながら質向上に努めているが、出勤頻度や、送迎等による参加率のバラツキが見られる。事業所全体で研修会を実施していたが、コロナに関連し実施出来ず。
適切な 支援の 提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			2	契約時に保護者様からのアセスメントを基に計画書を作成し、同意を頂き支援を行っている。また、定期的にご利用者様の変化を共有し、計画書に反映させている。
	2	児童発達支援ガイドラインや放課後等デイサービスガイドラインに基づき、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画において子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容を記載しているか	7			2	ガイドラインに基づき具体的な支援、取り組みが出来るように意識している。
	3	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			2	学校の下校時間、利用頻度によっても個人差があるが、児発・放デイそれぞれの療育の内容によって個別・集団の両方の側面からアプローチを意識しながら療育を行っている。
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援が行われているか	5	1		3	半年毎に計画案の見直しを行い、保護者様に説明、同意を頂きながら進めている。計画書の内容の理解に差があることから適切な支援に繋がるよう改善していく。
	5	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1		2	管理者を筆頭に療育の見直しを含めたプログラムの改善、発案を行いながら共有を図っている。チーム支援を意識して取り組んでいる。
	6	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	3		1	週間毎で療育の内容を変えながら、ご利用者様の支援の質に偏りが出ないようにミーティング等で見直しを図っている。
	7	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	1		2	それぞれの日課を見直ししながら、ご利用者様が視覚的に確認し、行動化に繋がるように時間設定、日課設定を行っている。個々に応じて宿題の支援を行っている。
	8	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	1			1日の流れや、送迎確認、日課の取り組み、待機職員の役割分担等、全体の流れを把握できるように日常的に確認出来ている。送迎の兼ね合いで行き違いになることもあるため、ノートの活用をしている。
	9	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	2	1	2	送迎等による引継ぎや、勤務時間の兼ね合い等によって難しい点もあるため、引継ぎノート等を活用しながらその日の内に共有を意識している。終りに定着化出来るように改善していく。
	10	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			1	毎月定期的に支援内容の確認、誤字脱字等のチェックを行いながら、修正の確認を共有出来ているため迅速に訂正しながら確認している。
	11	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	1		5	保護者様との面談、相談支援員との情報共有のもと見直しを図っている。また、相談支援員との連携のもと、必要に応じてモニタリングを行っている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	分からない	工夫している点、課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	1	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			4	管理者が対応しながら、児童発達支援責任者にも出席してもらうなど状況に応じて調整している。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関との情報共有や連絡調整を適切に行っているか			2	7	医療的なケアが必要なご利用者様の該当者は無し。今後の支援を見据えて、医療機関との連携、協力体制を働きかけている。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医等や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			2	7	医療的なケアが必要な該当者はいないが、ご利用者様のかかりつけ医との連絡や、必要に応じた情報交換等を行っている。
	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間で支援内容等の十分な情報共有が行われているか	3	2	1	3	必要に応じて関係機関との面談や会議を行っている。また、保護者様からの依頼を受けて、事業所から関係機関との会議の打診を行っている件もある。放デイにおいては送迎時に情報共有が出来るよう努めている。
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供が行われているか	2		1	6	他事業所への移動に伴う契約解除含めて個人情報の観点から情報交換、提供は原則行っていないが、必要に応じて保護者様の同意を得て自立支援に繋がる情報共有を行っている。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	1	1	6	自事業所の利用率の空き状況等によるご案内をしているため、就学先としても協力体制の強化を図っていききたい。具体的な連携を図るための働きかけは特に行っていないため、課題として検討していく。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会があるか			5	4	現状は無し。今後は進級・進学時に向けた交流や居場所作りを含めて関わる機会や繋がりを増やしていきたい。
	8	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	4	3	移動販売車の来所等、地域交流を図ることが出来たため、今後は自治会等の地域に根差した交流機会を更に増やせるように、働きかけていきたい。
保護者への説明責任等	1	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	1		4	保護者様からの不安や不満等に繋がらないようにかみ砕いて説明するように心がけているため、納得して頂いているように感じる。現状、苦情に繋がる事例は特になし。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明を行っているか	5			4	計画書に基づいて、短期、長期の視点から見通しを持った支援を説明し、保護者様からのニーズを聞き取りながら作成し説明してから、同意の署名を頂いている。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	1	1	6	実施が出来ていないため、保護者支援の観点から、定期面談や送迎時における情報交換の場として活用しながら支援を行えるように意識している。ペアトレの重要性は感じているため、実施出来るよう検討していきたい。
	4	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	1		1	送迎時の伝達時に近況報告等の情報交換を取り交わすこともあるが、保護者様によってやりとりの差が生まれてしまう課題もあるため、支援計画書等の面談で意見交換を交わしている。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			3	必要に応じて個別に時間を調整しながら面談や電話等にて助言や支援を行っている。送迎時の時も含めて家庭連携加算を活用し、今後更に強化していきたい。
	6	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			5	4	コロナの状況下もあり未実施。今後の情勢も注視しながら取り組みについては検討していく。
	7	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			3	契約時に担当窓口の説明を行っているが、迅速な対応に繋げるために管理者から保護者様に必要な説明を行っている。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			3	送迎時等に伝達するとともに、メールは手紙等による周知を行っている。
	9	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	4		3	HP,SNSを活用しながら発信している。
	10	個人情報に十分注意しているか	9				研修を通して理解を深めているが、定期的に取り扱いの注意を促しながら意識強化を図れるように工夫しながら、必要に応じて見直しを図っている。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	4		2	職員によって理解の差があることや、認識のズレがあるため、再度周知しながら共通理解を図れるように改善していく。
	2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	1		2	年に2回の半年に一度避難訓練を実施している。消防署に実施の届け出を提出し、保護者様にも契約時にお伝えしている。
	3	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5		1	3	研修を通して特性理解を深めることで虐待防止に繋げている。日常的における支援のあり方、対応について気になる点があればその都度伝え改善している。
	4	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	2		5	契約時に身体拘束について説明を行い同意を頂いているが、ご利用者様の特性によって対応の基準が異なってくるため、その観点から統一するための検討が必要。また、身体拘束の必要性については状況によって変化するため、研修を通して理解を深めていく必要がある。
	5	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2			7	現時点では該当者はいないが、必要時には保護者様を経由して確認を取り、事故防止に努めている。
	6	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	1		4	日々振り返りを行い週に1度の報告書の提出を行い、事故防止に努めている。